

2018年 6月 20日

## 2017年度 COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

みやぎ生活協同組合 理事長 宮本 弘 様  
株式会社日専連ライフサービス 社長 羽生正弘 様

団体名	一般社団法人ワタマスマイル		
代表者名	菅野芳春		
住所	〒986-2122 宮城県石巻市幸町2-3		
電話番号	0225-98-4701	FAX	0225-98-4701

### 1. 助成事業報告

助成を受けた事業名	『地域食堂』による居場所づくりと地域コミュニティ再生事業
事業の目的	①一人親世帯や経済的困窮世帯の子どもたちに栄養バランスの整った食事を提供することにより健全な発育を促す。 ②子どもたちの「孤食」を防ぎ、「食事コミュニケーション」によって子供たちの人間関係の形成に役立てる。 ③「孤食」が余儀なくされている子どもや家庭に課題を抱えている子ども（DV等）の居場所や地域とのつながりをつくる。 ④子どもから高齢者まで幅広い世代や従来からの住民と復興公営住宅へ新しく移り住んだ住民との『交流の場づくり』や『地域とのつながりづくり』を行う。 ⑤新しいコミュニティの形成を図る。
事業の具体的内容	石巻市渡波地区に貧困の有無に関わらず誰もが参加でき地域との関係性をつくり、地域の子どもの居場所や地域交流の場となる食堂として『地域食堂』を開設した。 具体的には以下のような活動を行った。 ①対象者・人数：子どもたち（乳幼児から高校生）、保護者、復興公営住宅の住民、既存地域の住民の希望者、参加人数は1回30～50人 ②対象地域：石巻市東部地区（渡波地域） ③実施回数：月2回金曜日の夕方もしくは土曜日のお昼

	<p>に開催</p> <p>④実施場所：渡波災害支援センター（渡波キリスト教会）</p> <p>⑤活動方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「地域食堂」の開設実施にあたっては地域の小中学校（渡波小、渡波中）、自治会、民生委員、児童委員、石巻市社会福祉協議会などの地元組織と連携し、「渡波地域食堂実行委員会」を創設して、運営方法やメニュー決めなどを行った。</li> <li>毎月実施にあたっては地域の小中学校および自治会、復興公営住宅住民、周辺住民へチラシを配って告知した（毎月 800 枚）。</li> <li>食材はできる限り地元の野菜や海産物を使用し、地域の食への関心や食育に結び付けるようにした。</li> <li>調理は子どもからお年寄りまで参加者有志で一緒に行い、配膳や後片付けまでは参加者全員で行い、交流を深められるようにした。</li> <li>食事後は参加者（子どもから高齢者まで）一緒にゲームなどを行い、コミュニケーションを図れるようにした。</li> <li>参加は当日の自由参加とした。</li> <li>食器に関してはできる限り「マイ食器」や「マイ箸」を持参してもらうようにした。</li> <li>実施にあたって出来る限り地元の人ボランティアを受け入れて協力して頂くようにした。</li> </ol>															
<p>活動の開始から完了までの流れ</p>	<p>2017年1月 活動準備開始</p> <p>2017年1月～3月 「渡波地域食堂実行委員会」を創設して、実行委員会を開催し、地域食堂の運営方法や活動内容などについて決定</p> <p>2017年4月 活動開始</p> <p>2017年4月 会場賃貸契約締結</p> <p>2017年4月 機材等の購入、開催チラシ印刷・配布</p> <p>2017年4月～2018年3月末 「渡波地域食堂」を毎月2回開催、合わせて「渡波地域食堂実行委員会」を毎月2回開催して、活動の検証やメニュー決めなどを実施</p> <p>毎月開催チラシ印刷・配布</p> <p>2018年3月末 活動完了</p>															
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>1. 開催日と参加人数</p> <table border="1" data-bbox="555 1892 1369 2072"> <thead> <tr> <th rowspan="2">開催日</th> <th colspan="3">参加人数（人）</th> </tr> <tr> <th>子ども</th> <th>大人</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月22日（土）</td> <td>18</td> <td>25</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>4月28日（金）</td> <td>16</td> <td>24</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	参加人数（人）			子ども	大人	合計	4月22日（土）	18	25	43	4月28日（金）	16	24	40
開催日	参加人数（人）															
	子ども	大人	合計													
4月22日（土）	18	25	43													
4月28日（金）	16	24	40													

5月13日(土)	18	20	38
5月26日(金)	15	21	36
6月10日(土)	16	22	38
6月23日(金)	13	20	33
7月14日(金)	15	19	34
7月29日(土)	21	28	49
8月5日(土)	22	23	45
8月12日(土)	20	24	44
9月8日(金)	14	20	34
9月23日(土)	19	22	41
10月14日(土)	9	16	25
10月27日(金)	13	17	30
11月10日(金)	14	18	32
11月25日(土)	8	17	25
12月8日(金)	13	16	29
12月23日(土)	22	26	48
1月13日(土)	18	25	43
1月20日(土)	15	19	34
2月10日(土)	18	21	39
2月24日(土)	14	18	32
3月3日(土)	17	19	36
3月24日(土)	18	21	39
合計	386	501	887

## 2. 参加者の感想

### ①小学校4年生のA君

本事業で実施した「渡波地域食堂」には毎回15人前後の子どもたちが参加していたが、その多くはシングルマザーや両親がいても渡波という地域特性として父親が遠洋漁業の船員で数か月間不在の家庭も多い。また、両親が不仲で家に居場所がないなど通常の家ではない子どもたちがほとんどであった。その中でも小学校4年生のA君は毎回参加していた一人で母子家庭にあり、毎日母親の帰りが遅く家にいてもつまらないのでいつもセンターに来て、ボランティアの地域のおじさん、おばさんたちと話をしたり、地域食堂でも率先して手伝いをしていた。そのA君に「ここの食事はおいしい？」と聞くと「最高においしいよ！学校の給食よりもお家のご飯よりもおいしいものが食べられるから、いつもおかわりしているよ。ここに来るとみんなとも会えるし、おいしいものも食べられるから、毎週ここに来るのを楽しみにしているんだ。」と言ってくれた。このA君のようにこの地域子ど

も食堂に来ることを楽しみにしている子どもたちや自分たちの居場所としている子どもたちがこの渡波地区にはたくさんいる。このA君のことは本事業を実施して本当によかったと思えた瞬間であった。

#### ② 79歳の男性Bさん

近くの復興公営住宅に2016年10月に引っ越してきて、一人暮らしをしている。仮設住宅から復興公営住宅に移ってからは毎日テレビを見てるだけで、ほとんど部屋から出ることがない。食事も自分で料理ができないので、弁当や惣菜を一人で食べている。チラシが郵便受けに入っていたので、それを見て参加した。そのBさんに「参加してどうですか？」と尋ねたところ、「今までは毎日部屋にいて一週間に1回も他の人と話をしたことがなかったが、ここに来ると話相手もいるし、子供もいるので楽しい。こんなに大勢でご飯を食べることはなかったので、みんなと一緒に食べるご飯は本当においしい。毎回ここに来るのを楽しみにしている。」と言っていた。Bさんにとってはこの「地域食堂」に来ることが大きな楽しみや生きがい、地域の人々と会える場となっているとのことで、本事業の効果の一つともいえる。

### 3. 成果

- ① 渡波災害支援センター(渡波キリスト教会)を借用し、『渡波地域食堂』を開設し、1年間で計24回開催することができた。
- ② 『渡波地域食堂』への参加者は延べ887人、ボランティア参加者は174人と合計で1000人を超える人の参加を得られた。
- ③ 『渡波地域食堂』の開設にあたって、渡波小学校、渡波中学校、渡波地区区長会、民生委員、児童委員、石巻市社会福祉協議会、子ども支援団体などと連携し、「渡波地域食堂実行委員会(愛称:『渡波たべらいん』の会)を結成し、運営方針や運営方法を策定した。
- ④ 実行委員会で策定された運営方針に基づき、月2回定期会議を開催し、実施計画の作成からメニュー決めや実施の検証までを行うことができた。
- ⑤ 『渡波地域食堂』においては食事を一緒に作ることの楽しさ、一緒に食べることを楽しむことで「食事を通じたコミュニケーションづくり」ができた。
- ⑥ 『渡波地域食堂』を通して、子どもと大人の顔の見える関係づくりや復興公営住宅に新しく移り住んだ住民と元の地域住民との交流など地域内の住民同士の交流を図ることができた。

	<p>4. 教訓</p> <p>① 土曜日の開催時に学校行事と重なり、子どもたちの参加が少なくなってしまったことがあった。やはり、事前に学校行事を調べて、行事日程と重ならないように開催日程の調整を行う必要がある。</p> <p>② 金曜日の夜に開催した場合には、夜間に近隣の復興公営住宅から会場まで歩いて来る必要があるために、高齢者から「夜は外には出歩けない」との声があり、冬場においては日中に開催する必要があることがわかった。この教訓を今後の開催に生かしていきたい。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>① 『渡波地域食堂』を継続的に開催していき、「食事を通したコミュニケーションづくり」を行っていくことによって、子どもと大人の顔の見える関係づくりや地域住民の交流を活発にして、地域コミュニティづくりや地域コミュニティ再生へとつなげていきたい。</p> <p>② 本事業で実施した『地域食堂』のモデルを石巻市の他地域への広げていき、『地域食堂ネットワーク』を作り、活動を市内全域へ拡大していきたい。</p>

## 2. 助成金使途報告書

### ■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
みやぎスマイル基金助成金	300,000	
子どものたより場基金	300,000	(助成期間名) 公益財団法人 地域創造 基金さなぶり
自己資金	200,023	寄付金・会費等
合計	800,023	

### ■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
機材費	座卓兼用折りたたみ式テーブル4脚	61,320	64,800
	業務用ガス炊飯器RR-50G2 1台	114,480	114,480
	鋳物ガスコンロTS-330P 1台	34,992	34,992
	業務用アルミ寸胴鍋(45cm) 1台	45,360	47,520
	鍋・フライパンセット	13,456	15,984
	キッチン4点セット(2セット)	11,960	0
	子供用ナイフ(5本)	12,150	0
印刷費	チラシ印刷費(12ヶ月分)	116,640	116,640
消耗品費	食材費	216,000	248,371
	ごみ袋・洗剤等	10,000	11,236
旅費交通費	ガソリン代	60,000	62,000
光熱水費	光熱水費	24,000	0
会場賃借料	会場賃借料	60,000	84,000
合計		782,518	800,023

\*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

### 3. 送付必要書類

- (1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書
- (2) 領収書のコピー
- (3) 成果物（活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真など）